

＜親子でもっと！サロベツの自然をワクワク楽しもう♪＞

サロベツでのびのび育てるママの会

私たちの団体は、国立公園があるサロベツ地域の豊かな自然の中でのびのび子育てすることを目指しているボランティアの子育て自主サークルです。設立後10年近くが経過し、備品の老朽化が進む一方、以前よりも参加者が増えているため、活動基盤を整えることで一層の活動の充実と、さらなる活動の広がりや定着を図るために助成金をいただいて親子で自然に親しむ活動を実施しました。

活動では、①サロベツの四季の自然を身近に感じられる活動、②豊かな自然がある地域ならではの体験活動、③お母さんたちのヒントになるような活動、④安心して野外で遊ぶため知識が得られる活動、⑤サロベツの自然環境に貢献できる活動という観点を大切にして、4回の催しを地域の専門家（自然ガイド）の協力を得て実施しました。

5月：春は市街地に近い自然豊かな公園で実施しました。最近のヒグマの市街地付近への出没に対する不安や関心から、多くの親子が参加しました。レクチャーでは、知床財団様から取り寄せたヒグマの教材を使用して講師による解説やクイズを通して、ヒグマの生態に対する理解を深めました。また、クマに会わないと方法や、もし出会ってしまった時の対応も練習しました。引き続き学んだ知識を生かしながら講師と一緒に森を散策して春ならではの自然を散策して楽しみました。

8月：夏の活動は天塩川跡の三日月湖で実施しました。市街地にポイ捨てされたゴミが川を経由して海へ流れて行き、マイクロプラスチックとなって海洋汚染を引き起こすこと、人間も含め多くの生物に影響を及ぼす危険性の話を講師から聞いた上で、親子で三日月湖畔のゴミを拾ったり、カヤックに乗り、三日月湖内のゴミを回収しました。三日月湖の自然を楽しみつつ、自然環境の美化に貢献しました。

9月：秋の活動は春と同じ森で、最初にヒグマ対応のレクチャーを受けて、練習用クマスプレーで使用方法の練習をしてから散策しました。眺めの良い山頂までの森の小径を探検しながら、ヤマブドウやドングリなど秋の実のりを集めたり、紅葉した葉っぱを観察したりしました。また、ワークシートを使ってドングリとヒグマなど山の動物との関係など、植物と動物たちとの関わり合いについて学びました。

3月：冬の活動はこれまで活動してきた森へスノーシューを履いて行き、夏には歩くことができない場所を自由に歩いて散策しました。キタキツネやエゾユキウサギの足

跡を観察したり、クマゲラの開けた木の穴を見たり、小鳥たちを観察しました。また、ネイチャーゲームを通して厳しい冬を生き抜く野生動物の知恵について楽しく学びました。

今回、助成金をいただきて備品を揃えたり、専門家の講師を招聘することができ、全4回の活動で計99名の親子に参加してもらうことができました。また、地元だけではなく近隣地域からの参加もありました。新聞にも取材していただき、活動を幅広く知つていただくきっかけにもなりました。四季を通じてサロベツの自然に親しむ活動を行うことができ、これまで以上に活動の輪が広がったと思います。今後もサロベツの自然を愛する気持ちを地域のママ達と一緒に、小さいうちから大切に育てていきたいです♪この度はご支援いただき、本当にありがとうございました！



春の活動



夏の活動



秋の活動



冬の活動